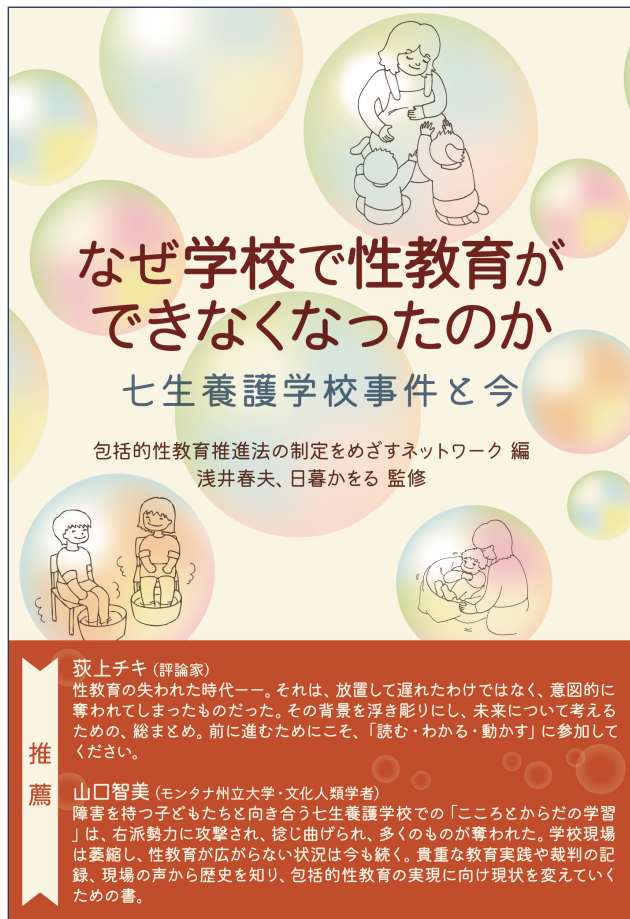
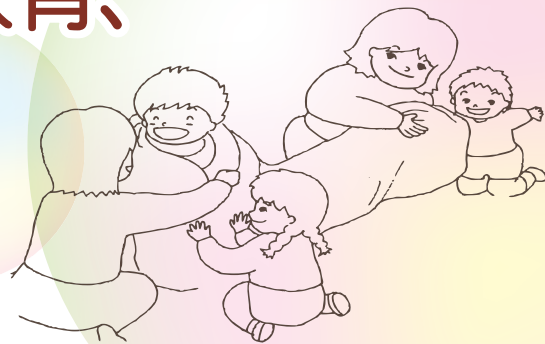


性の多様性、包括的性教育、 子どもの権利など 今の課題の原点にある 七生事件を振り返る



「はじめ」により (抜粋)

攻撃され取り上げられてしまった七生の教育実践は、世界で広がっている「包括的性教育」そのものであったのではないかと改めて思っています。日本の子どもたちにも「権利」としての「性教育」を届けたい。そんな思いから、私たちは本の出版とともに「包括的性教育推進法の制定をめざすネットワーク」を立ち上げることにしました。

七生でつくってきた「大きな空間(学校)」を日本社会に置き換え、「この大きな大きな空間(社会)」で、だれもがその人らしく生きられるために何が大切か、「包括的性教育」を子どもたちにどう届けることができるのか、一緒に考えながら読んでいただければこれほどうれしいことはありません。

もくじ

- 第1部 七生養護学校事件の裁判勝訴10年を振り返る
 - 第1章 七生養護学校事件が今も問うていること (日暮かをる、井上千代子、上原ひとみ、宝方菟代美)
 - 第2章 保護者も納得できなかった「七生養護学校事件」(洪美珍)
 - 第3章 こころとからだの学習裁判—三つの判決の成果と課題(中川重徳)
- 第2部 勝訴10年後の性の多様性と性教育
 - 第4章 子どもの権利から見た「こころとからだの学習」の現代的意義(小泉広子)
 - 第5章 統一協会と右派勢力—性教育バッシングの背景(金子由美子)
 - 第6章 教育現場は今どうなっているのか(現役教諭の座談会)
 - 第7章 性の多様性をめぐる問題状況—トランスジェンダー差別を中心に(遠藤まめた)
- 第3部 性の多様性が尊重される教育・社会に向けて
 - 第8章 包括的性教育-その概要、めざすべき人間像、法律私案の提起(浅井春夫)
 - 第9章 「多様な性」尊重か制限-LGBT理解増進法をめぐる議論から考える(松岡宗嗣)
 - 第10章 民間教育運動が進めてきた「性の多様性」教育実践を定着させるために(堀川修平)

ISBN978-4-87154-239-5
c3037 1600E
定価1760円(本体価格1600円+税)

あけび書房

TEL: 03-5888-4142 FAX: 03-5888-4448

〒167-0054 東京都杉並区松庵3-39-13-103
https://akebishobo.com/ Mail: info@akebishobo.com



ご記入の上、最寄りの書店あるいはあけび書房へご注文下さい。

注文書	書店印・取扱先		注文数		
	なぜ学校で性教育ができなくなったのか			冊	
	団体名		氏名		
	送り先	〒()-()	電話番号		
その他備考					

取次帖合：日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・中央社・大学図書・日教販・全官報・新日本図書・鎌谷書店・JRC

発行：あけび書房 TEL.03-5888-4142 FAX.03-5888-4448